

平成30年度事業計画書

テーマ：地域力のサポートを行うために、地域住民との連携強化を図り、介護、医療、保健、福祉のネットワーク体制を整える

サブテーマ：生き生きと安心した生活が継続できるために、地域の中で暮らしていると利用者が実感を持てるように援助していく

部署名：グループホーム みくにの里

取組目標	達成目標	具体的計画
家族や地域との交流を通して安心 と楽しみが実感できる生活を提 供する	①家族や地域との交流ができる 行事やクラブ活動を行い、楽しみと 安心した生活が実感できる	・毎年恒例の小旅行を行い、家族 や地域との繋がりを保つ。 ・地域貢献が実感できる活動として 交通安全マスコットを作り、警察署 と連携し交通安全のイベントに参加 する。 ・楽しみと情報を得る事を目的に 定期ボランティアと交流する。 また、ボランティア、家族、地域の 方が参加できる行事を行う。 ・リハビリとして、ふくふく体操や 三国の馴染みの民謡を活用する。 また、地域や一般に向けて発表の 機会を設けるようにする。 ・安心した生活が続けられるように 身体拘束の廃止を継続する。

取組目標	達成目標	具体的計画
	<p>②病院から退院後の安定した生活に向けて、再入居の受け入れ体制を整えることができる</p>	<p>・専門の医療機関や、みくにの森クリニックと連携して、退院後のカンファレンスに参加。詳細な情報を得て、計画を作成し、チームが適切に退院後のケアができ、安定した生活が継続できるようにする。</p>
<p>人材を育成し資質の向上を図る</p>	<p>①研修やカンファレンス、会議等を通じて、職員の意識を高めると共に知識、技術を深めチームケアを効果的に機能する</p> <p>②認知症ケア力を高める</p>	<p>・スタッフの希望や知識、技術に応じた研修への参加を促す。</p> <p>・面談を通じて職員の思いを聞き、倫理観を育て、共通した理念を持ちながら認知症ケアに努める。</p> <p>・個々の気づきを活かし、職員のモチベーションを上げるよう努める。</p> <p>・月に一度、認知症ケア会議を行い、利用者により良いケアができるように、チームの意見をまとめ検討することにより、ケア力の向上、職員のスキルアップを目指す。</p> <p>・認知症実践者研修に参加し、より詳しくチームで学習し、チームケアの向上を目指す。</p>